

令和 4 年度富谷市立成田東小学校 学校関係者評価書

令和 5 年 2 月 1 7 日
学校関係者評価委員会
氏 名
氏 名
氏 名
氏 名
氏 名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- ・ コロナ禍での教育活動が続いているが、感染状況に応じて様々な取組を進めたことにより、子供たちは成長している。
- ・ 保護者アンケートの結果が昨年度より落ちているが、学校の取組への更なる期待と捉えたい。また、児童アンケート、教師の自己評価からは、それぞれの頑張りが見られているので、学校の取組を発信していくことが今後大切である。

(2) 成果について

- ・ 学校ホームページでは、子供たちの学校生活の様子を公開した「なりひが日記」が工夫されており、子供たちの活動の様子が広く発信されていた。
- ・ 今年度はゲストティーチャーを迎えた活動が多くできていた。地域と共に子供たちを育てていくことでより教育効果が上がる。
- ・ 学習指導においては、タブレット端末を使った学習が効果的に取り入れられ、学びの充実が図られている。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・ ここ数年、課題として挙げられている「挨拶」については、家庭、地域と連携した取組を今後も工夫し、子供たちが自主的に行う「挨拶」にしたい。
- ・ 保護者が集まる機会を意識的に設定していくことで保護者同士のつながりが深まる。そのためにもPTAと連携した取組を進めるなどの工夫が必要である。
- ・ 異学年交流（せせらぎタイム）に継続して取り組み、子供たち同士の関わりを深め、よりよい人間関係の構築を目指してほしい。
- ・ 運動に取り組む子供とそうでない子供の「二極化」が進んでいるが、体力の向上を図るためにも、その原因を探り、解決に向けた努力をしてほしい。
- ・ 子供たちの安心・安全を守るためにも、地域とタイアップした防災に係る取組を推進していくとよい。地域のお年寄りを活用することも効果がある。学校防災と地域防災が互いに連携し合うことが必要である。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> 成田地区の自主防災マニュアルと学校の危機管理マニュアルとの関連を明確にし、いざという時に連携して対応できるよう、防災連絡会を開催していくとよい。また、地域と協働で取り組む防災訓練の実施に向けて、今後検討していくとよい。 子供たちの登下校を見守る体制作りについて、地域やPTAと連携した取組を工夫していく必要がある。
	2 魅力ある学校	B	
	3 施設・設備	B	
	4 安全管理	B	
	5 教職員の資質の向上	B	
	6 特色ある教育活動等	A	
教育課程	1 確かな学力	B	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末の活用にあたっては、引き続き、一人一人のつまずきや課題に応じた指導が必要となる。 せせらぎタイム（たてわり活動）の継続した取組を通し、高学年から低・中学年に挨拶や礼儀なども含め、人と関わる上で大切なことを伝えていくような活動を目指してほしい。 望ましい生活習慣の確立を目指すためにも、家庭と連携した取組を工夫していくとよい。 体力向上に向けた取組を継続してほしい
	2 豊かな心身	B	
	3 特別活動	B	
	4 生徒指導・教育相談	B	
	5 特色ある教育活動等	B	
課題教育	1 環境教育	B	<ul style="list-style-type: none"> 大和警察署生活安全課の協力を得て、10月に発足した児童生徒健全育成ボランティア「アルカス」の活動は大いに期待できる。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため思うように活動ができなかったが、次年度は高学年を中心に様々な取組を行ってほしい。 今後も個に応じた指導の充実を目指すことはもとより、特別支援教育においては、地域の方々に学習面でのサポートをお願いすることでより教育効果が高まると考える。 読み聞かせボランティアさんが、定期的に来校してくださっていることは、子供たちの楽しみになっている。読書に親しみ、豊かな心を育むためにも、今後も継続してほしい。
	2 情報教育	B	
	3 特別支援教育	B	
	4 図書館教育	A	
	5 健康教育	B	
	6 特色ある教育活動等	B	
地域との連携について		B	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーや地域のボランティアを大いに活用することで、子供たちにとっていろいろな体験、学びの機会ができ、よい経験になる。コロナ禍ではあるが学校を開き、様々な機会を今後も設定してほしい。
いじめ問題への取り組み		B	<ul style="list-style-type: none"> 子供たち一人一人の気持ちを大切に、安心して相談できる関係づくりと寄り添う指導を今後も続けてほしい。また、保護者との面談の機会も増やしていくとよい。